



学校便り

豊田公立日見中学校

令和4年10月27日

第12号

文責 平野

朝夕はめっきり涼しくなり、制服も冬服への移行が進みました。1年の半分以上が終わり、子ども達は高校受験や進級を意識しながら、学習や学校行事、部活動などに取り組んでいます。

【 稚心を去る 】

10月12日(水)、進路説明会では、明治維新のころ活躍した橋本佐内が15歳のときに書いた「啓発録」にあることばを紹介しました。

「稚心」とは、幼心ということにて、俗にいう童しきことなり

果菜の類のいまだ熟せざるをも、稚という。

稚とは、すべて水臭きところありて、ものの熟して旨き味のなきを申すなり。

何によらず、稚ということに離れぬ間は、ものの成り揚がることなきなり。

人にありては、竹馬・たこ、毬の遊びを好み、あるいは、石を投げ虫を捕らうるを楽しみ、或いは、糖果、そざい、甘旨し食物を貪り、怠情安逸

に耽り、父母の目を盗み、芸業職務を怠り、或いは父母によしかかる心を起こし、或いは父兄の

厳しさにはばかりて、とかく母の膝下に近づき隠ることを欲する類い、皆、幼童の水臭き心より

起こることにして、幼童の間は強いて責むるに足らねども、十三四にもなり、学問に志し候

上にて、この心、けほどにても残りこれある時は、何事も上達致さず、とても天下の大豪傑となる

ことは叶わぬものにて候。

昔のものですが、今の時代に当てはまるものがたくさん書かれています。

高校進学をひかえた3年生には特に、そして1・2年の皆さんにも、次のステージに上がるために「稚心を去る」の決意を持って欲しいと思います。

【 市中総体駅伝大会 】

10月5日(水)、標記大会が行われました。結果は男子10位 女子25位でした。

スポーツはどの競技も、つまるところ、最後は自分との戦いです。長距離走は、その自分との戦いが長く、非常に過酷な競技だと言えるでしょう。

「一歩一歩」このことばは、かつてマラソンランナーであり、現在駅伝の解説で活躍している増田明美氏の座右の銘です。「どんなにたどり着くことが困難に思える遠い道のりであったとしても、結局は一歩一歩の積み重ねだということなのです。



学校を代表して出場した選手のみなさんは苦しいときはこのことばを、不安なときは共に苦しい練習に取り組んできた仲間を信じて大会に出場しました。

その努力と栄誉を称えるとともに私たちの今後の生活の指針にしたいと思います。

【 行事予定 】

10月

28日(金) 小中連携防災訓練

31日(月) 生徒集会・伝達式

11月

1日(火) 3者面談/面接練習(3年)開始

3日(木) 文化の日

4日(金) 食育講話(2年)



「啓発録」より
橋本佐内 5訓

【 修学旅行 】

「見聞」を広める「交友」を深める「礼儀」を身に付けるという目的のもと、10月19日（水）～21日（金）の日程で実施しました。

特に今回は、様々な困難があるなかで実現できたものです。改めて、子どもたちが周りの人に対する感謝の想いを深める大切な機会にしたいと考えて出発しました。

（前日）

結団式では、「ちょっとの我慢でみんなの笑顔」という、今回の修学旅行における合言葉を代表の浦田君が述べ、明日に備えました。

（1日目）

日見公園での出発式後、関西へ向けて出発。

福岡でバスから新幹線に乗り換えました



初日はタクシーで京都市内班別研修です。伏見稲荷や金閣寺などを訪ねました



（2日目）

旅館の前で記念撮影後、京都から大阪へ。

宿泊地の目の前は西本願寺でした



清水寺へバスで移動。音羽の滝では「学問」「恋愛」「健康」を祈願しました



お昼からは楽しみにしていたユニバーサルスタジオ（USJ）です。

映画由来のアトラクションを楽しみました



ハリーポッターやミニオンズなどが人気でした



（3日目）

フェリーに乗って夜の間九州へ。

太宰府では学問の神様に頭が良くなるようにお願いしました



最後は大刀洗平和祈念館へ

長崎で平和学習に力を入れて取り組んでいただけあって、特攻によって命を亡くした方やその家族の想いについて真剣に考えることができました。



解団式では、代表の中村さんより「3日間で見えた景色や感じたことまたエピソードなどを添えて、家族や先輩・後輩にお土産を渡しましょう」ということばがあり、充実した旅行だったことが伝わってきました。

事前学習・旅行中・事後学習の3回の学びを通して、2年生が一段と成長することを願っています。